

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成30年
仁叟寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
1/4~1/7 年始挨拶
1/10 年賀寺例
2/3 大節分会
2/15 釈尊涅槃会
3/11 大般若会大施食会法要
3/18~3/24 春季彼岸会
4/3 和プロジェクトTAISHI
4/8 釈尊降誕会(花祭り)
5/16 風外禅師生誕450年記念法要、禅文化の会結集総会
5/23~5/24 梅花流全国奉詠大会(静岡)
7/13~7/16 新暦孟蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
8/1~8/2 (一泊二日)
第37回子供禅の集い
8/10 中元寺例
8/13~8/16 孟蘭盆会
8/19 地域防災避難訓練
9/20~9/26 秋季彼岸会
10/18~10/19 梅花流県奉詠大会(草津)
11/5~11/7 宗務所檀信徒本山研修旅行
12/8 釈尊成道会
12/10 歳暮寺例
12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
※隔週水曜日 梅花講稽古
※隔週土曜日 華道教室
※群馬県宗務所執務日
月・水・金曜日

大般若会・大施食会報告



↑高崎市最古の大般若経600巻
(市指定重要文化財)を転読
する大般若会法要風景

また式典に於いて、堀越兼一氏より三木和夫氏へと総代人が交代となりました。堀越様、ご苦労様でした。総代人各位に於かれましては、引き続き宜しくお願い申し上げます。

→立川朝志師匠による落語会

東日本大震災八回忌でもある本年3月11日、当山に於いて恒例の大般若会、大施食会が多くの御寺院様ご随喜のもと、多数の檀信徒が集い、修行されました。大施食会では、檀信徒各家の先祖供養は勿論、併せて東日本大震災慰霊供養をとめました。

法要に先立ちまして本年は、故立川談志の前座をつとめていた群馬県渋川市出身の落語家、立川朝志師匠に落語会を賜りました。健康や老化防止をテーマとした落語で、昭和の懐メロを挟み、笑いが絶えない一席を披露していただきました。有難うございました。



スリランカ仏教蘭華寺シイラ長老 スリランカ マエバシ幼稚園園長来山

去る5月25日、スリランカより蘭華寺シイラ長老、マエバシ幼稚園園長先生他関係の皆様方が、仁叟寺にご来山いただきました。

当日は、群馬県曹洞宗青年会会員有志が集い本堂で諷経、拝観の後、欣光閣にて歓談。スリランカ大菩提会より贈られた仏足石前にて記念集合写真を撮影いたしました。

本年2月に、同会が寄贈し落慶を果たしたマエバシ幼稚園の答礼と園長先生の日本研修に合わせ当山に見えられました。



本堂での法要後欣光閣にて歓談。スリランカ大菩提会より贈られた仏足石前にて

風外慧薫禅師生誕450年報恩法要、禅文化の会



↑ 法要後、当山本堂にて記念集合写真撮影

様、安中市長源寺様、同補陀寺様に拝登し、更に7月16日迄安中学習の森で開催されている風外慧薫禅師特別展に伺いました。

本年は、曹洞宗禅画の祖と称えられる風外慧薫禅師生誕450年となり、師の生誕地であるここ上州にて春季の、住職地及び洞窟に籠もり托鉢行をされた相模小田原にて秋季の結集を企画しております。また総会に先立ち、曹洞宗群馬県宗務所所長である仁叟寺住職導師のもと、風外慧薫禅師生誕450年報恩諷経が参加者関係各位40名にて執り行われました。

ほか中国より当山に見えられた中国古代楽器演奏家であり尼僧さん2名による演奏も行われ、花を添えていただきました。

準備にお手伝いをいただきました法友の尾山師始め日本全国よりご参集いただきました会員諸老師、当山総代の皆様、誠に有難うございました。

去る5月16日～17日、曹洞宗禅文化の会（旧称・洞上禅文化墨蹟研究会）の第31回結集及び総会が仁叟寺にて修行されました。当寺のほか甘楽町宝積寺



↑ 風外慧薫展ポスター

↓ 当山所蔵墨蹟を本堂、欣光閣等に展示

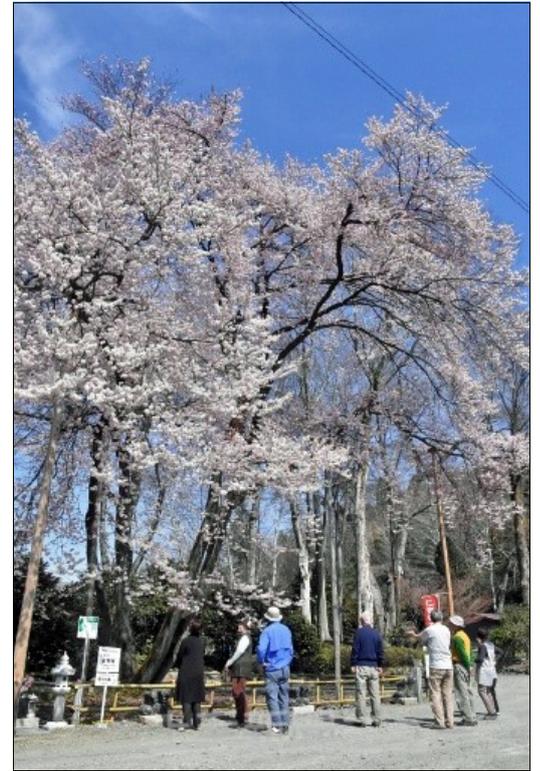


仁叟寺五輪桜 本年も満開

群馬県高崎市吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）にあるコヒガンザクラ「五輪桜」が満開となった＝写真。高さ15メートルを超える大木が訪れる人の目を楽しませている。

五輪桜は、市指定の保存樹木で、樹齢は約80年。地中から5本の幹が輪のように伸びていることから名付けられた。檀家らが手入れをしており、落ち葉を堆肥にして育てている。（3月27日付『上毛新聞地域面』記事より）

本年も地元紙上毛新聞及び同ネット記事に、当寺五輪桜が掲載されました。総代人始めボランティアの案内役も来寺して下さり、延べ800人を超える花見客で賑わいました。今年は開花が通常より10日前後早まりましたが、良い花を咲かせてくれました。



↑ 満開の五輪桜

高崎市里山元気再生事業報告



↑ 5月31日実施 下草刈作業集合写真

し、新たにモミジとサクラ凡そ300株を植樹。こまめに下草刈りや歩道の整備を行い、ようやく植樹した株も根付いて参りました。また、地域防災に於ける当山の高崎市避難所指定に伴い、同地区の水路整備も併せて行う予定です。

植樹したモミジ及びサクラも、あと5年もすれば、綺麗な紅葉や桜花が愛でられるものと思います。

当山檀信徒総代世話人各位にはもちろん、歴代の当地区長様はじめ矢島巖氏、金井正男氏、加藤壮士氏、小澤昇氏、金田一男氏には大変お世話になりました。継続満期となり市の補助事業からは離れますが、引き続き、地域及び当山関係者にお世話になり、里山を蘇らせる同事業に力を注ぎたく思っております。ご協力をお願い申し上げます。

高崎市の里山元気再生事業に当山の山林（竹林）が該当し、平成25年度より事業開始から5年間に亘り継続し活動を進めてまいりました。本年3月末日、平成29年度を以て市の事業は満期となり終了いたしました。

当初は孟宗竹と真竹、篠竹が大量に繁殖し、イノシシやハクビシン等害獣の棲家となっております。地道に活動を進め、竹林7,000本を伐採

し、新たにモミジとサクラ凡そ300株を植樹。



↑ 5月31日実施 下草刈作業風景

聖徳太子顕彰 和プロジェクトTAISHI揮毫会

4月3日は聖徳太子が十七条憲法を制定されたと伝えられている日。ちょうど満開のソメイヨシノと枝垂桜が花開く中、当山及び書道関係者凡そ30名が集い、聖徳太子の和の精神を今に活かすべく活動をされている和プロジェクトTAISHI主催の揮毫会が、当寺を舞台に修行されました。今回の同企画は、十七条憲法に因み、宗派を超えた日本全国仏教寺院17箇寺により行われました。

当山では、揮毫の前に本堂にて報恩供養法要を行い、その後に山門下にて「以和為貴」「恒久平和」の揮毫が、住職の妹である書家の山内清香さんにより書かれました。



↑ 揮毫を行う書家の山内さん

梅花流全国大会修行

5月23～24日、平成30年全国梅花流詠讃歌奉詠大会が、梅花流発祥の地である静岡県は静岡市の「このはなアリーナ」に於いて開催されました。

群馬県では、宗務所長である仁叟寺住職が県梅花講長を務めており、大型バス5台凡そ140名を引率し、大会に参加。仁叟寺からも一級詠範である渡辺恵津子寺



↑ 大会風景

族ほか梅花講員さんが同大会に参列いたしました。会場では曹洞宗梅花流のゆるキャラ「ばいかくん」「ばいかさん」もお出迎え。日本全国また海外より一万人以上の講員さんを迎え、本年も無事盛会裏に修行いたしました。

なお、当山梅花講では新たな講員さんを募集中です。



↑ ばいかくんのお出迎え

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

本年5月に、地元吉井中央中学校の社会体験学習「やるベンチャー」の受入れをいたしました。中学2年生の生徒2名が丸4日間に亘り、仁叟寺にて社会体験をいたしました。作務（清掃作業）を中心に、写経、読経、坐禅、華道体験等寺院ならではの活動を一所懸命に行いました。これからの生活に於いて、良き経験になってくれれば幸いです。

→ 華道の作品

